



質問 市で行っている「健康とわだポイントラリー」にさまざまなスポーツのイベントや教室に参加するとポイントがもらえるポイントカードを導入してはどうか。
答弁 ポイント対象として加えることを検討したい。



質問 三本木小唄をアレンジしたダンス大会を十和田湖畔で開催し、ネット上での情報拡散により市をPRしてはどうか。
答弁 現在は基本の踊りの普及に努めており、開催は難しいが、既存のイベントなどを活用し、PRしていきたい。



質問 学生が安心してスポーツに取り組むために、バスでの送迎などをしてはどうか。
答弁 バスでの送迎は、多くのスポーツ団体があるため難しい。身近な学校などの施設を活用するように促すことで市民の健康づくりにつなげたい。



質問 移動図書館車を導入したらどうか。
答弁 移動図書館車の新規導入は難しいが、現在行っている予約を受け、学校や公共施設に本を貸し出しするなどの取り組みがあるので、周知していきたい。



質問 自校の良さや自慢できることを紹介するイベントを行って交流を深めてはどうか。
答弁 すでに実施している「いじめ防止キャンペーン」のポスターに各校の良さなどを紹介する内容を加え掲示し、自校の良さをPRして欲しい。



質問 公共施設の屋外に花壇を整備してはどうか。
答弁 公共施設だけでなく、官庁街通りや、オープンガーデンのような自分の庭を花で彩るような取り組みを善意とボランティアにより、進めていきたい。



質問 観光客を呼び込むためにガイド付きバスツアーを増やしてはどうか。
答弁 地元の旅行業者と連携し、観光客が十和田市に着いてから選べるさまざまなバスツアーが増えるよう、取り組んでいきたい。



質問 市民から市のPR動画を募集し、良い動画を組み合わせる市ホームページに掲載してはどうか。
答弁 PR動画は、それぞれに良さがあり比較できないため、個性ある動画を個人個人が発信するよう呼び掛けたい。

7月26日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。これは、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っているもので、今回で6回目となります。今年度も、勉強会で議会や市役所の仕組みを学んだ市内の小学6年生18人が、子どもたちの視点で、市政に対する質問を行いました。質問に対して、小山田市長や丸井教育長が心を込めて答えると、子ども議員は一言一句聞き漏らすまいと真剣に耳を傾けていました。議長を務めた鈴木美尋さんは、「貴重な経験をすることができました。本番は緊張しましたが、子ども議員のみんなをまとめることができましたので、自分に自信が付きました」と感想を話しました。

子ども議会を経験した子ども議員からは、まちづくりに積極的に参加していこうとする思いがひしひしと伝わってきました。

市では、こうした子ども議会でも提案された意見をまちづくりに反映させるように努めていきます。



子ども議会終了後、当選証書を手にした小山田市長（中央）、西村副市長（中央左）、丸井教育長（中央右）と記念撮影

※1～2番：南小学校、3～7番：東小学校、8～10番：ちとせ小学校、11～16番：三本木小学校、17～18番：法奥小学校



質問 小学生向けに市役所での職場体験学習を実施してはどうか。
答弁 中学生向けには実施しているが、小学生はまず市役所の職員が講師として出向く「ふるさと出前きらめき講座」を利用して欲しい。



質問 子どもの夢をかなえるための援助を行ってはどうか。
答弁 文化・スポーツ活動に伴う東北大会や全国大会への出場に必要な経費の支援や文化、スポーツなどの第一線で活躍する著名人を招いて講演会を実施している。



質問 地域のつながりやにぎわいをつくるイベントを開催してはどうか。
答弁 毎年開催している「秋まつり」などのイベントの主催団体にさらににぎわいにつながるイベントになるようアドバイスをしていきたい。



質問 移住者向けに空き家を有効活用してはどうか。
答弁 現在市が実施している「空き家バンク」などのさまざまな支援以外の議員が提案したアイデアの実現には、仕組みを作るための調査が必要となるため、研究をしていきたい。



質問 空き店舗などを利用して子どもとお年寄りが出会える場を創出してはどうか。
答弁 高齢者が集まり、健康体操などを通して交流を行う「街なかいきいき交流事業」などが触れ合いの場となると思うので検討していきたい。

私も作りました

取材風景

「とわだ子ども議会」のページは、就業体験実習（7月25日（水）～27日（金））を市役所総務課広報男女参画係で行なった柴田優希さん（十和田西高等学校2年）も一緒に作成しました。



質問 「思いやり」を体験できるイベントを開催してはどうか。
答弁 奥入瀬川クリーン作戦などのボランティア活動への参加を呼び掛けることにより、「思いやり」の心を育む機会を提供していきたい。



質問 通学路などへ防犯カメラを取り付けてはどうか。
答弁 現在、市では小・中学校や公共施設の敷地内などに40台以上の防犯カメラを取り付けている。今後も十和田警察署などと連携して防犯対策に取り組んでいきたい。



質問 市の歴史・自然・特産が学べる国際交流イベントを開催してはどうか。
答弁 市内小・中学校や国際交流を行う団体などがさまざまな国際交流イベントを実施している。それらの団体と協力し、国際交流が盛んなまちを目指したい。



質問 体にも良く交流も増えるはだで遊べる室内アスレチック広場を整備してはどうか。
答弁 市内には、体育センター、おらんどームなどの屋内スポーツ施設があるので、健康づくりや気軽に楽しめる運動に利用して欲しい。



質問 旧十和田観光電鉄線跡地を利用して道路整備をし、歩行者の安全を確保してはどうか。
答弁 県道であるため、平成24年度から県に道路整備をお願いしてきた結果、今年度から一部工事を始める予定となっている。